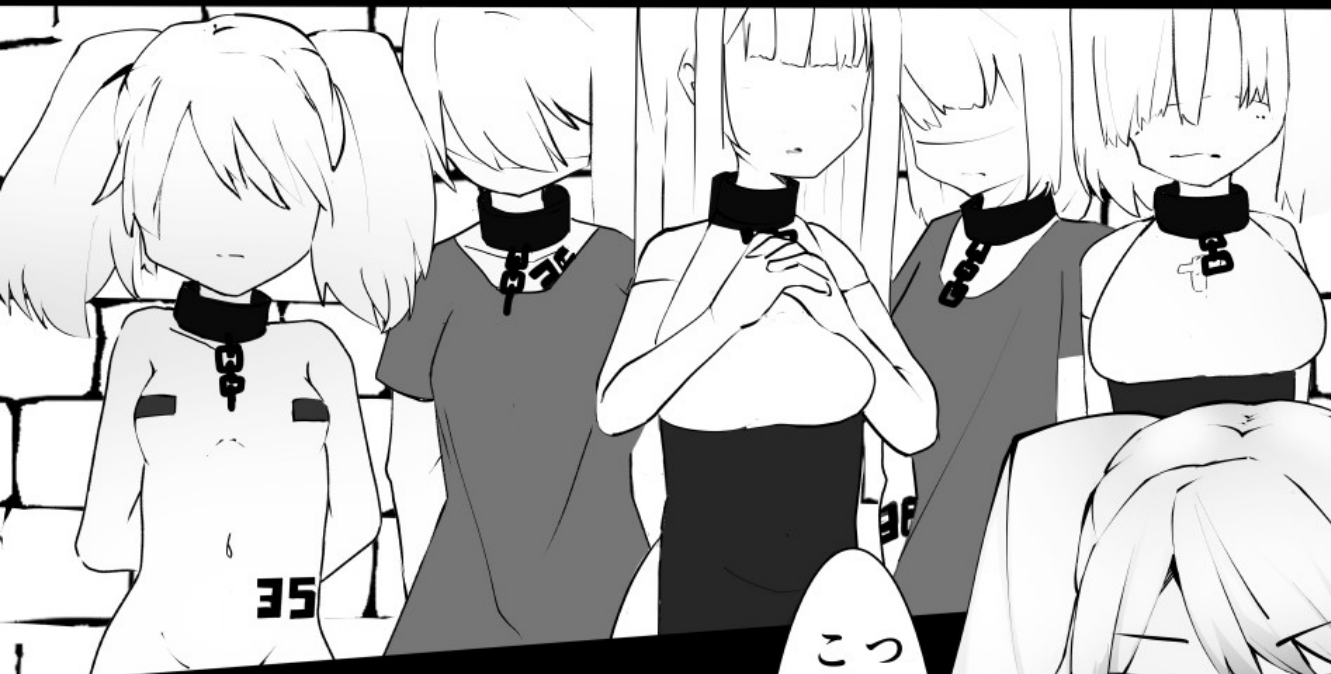


第三監獄所



～騙し捕らわれた女盗賊～

ここは第3監獄所、
主に軽犯罪者が収容される
異世界牢獄である。



つーか何で俺だけ
こんなカッコーなんだよ！



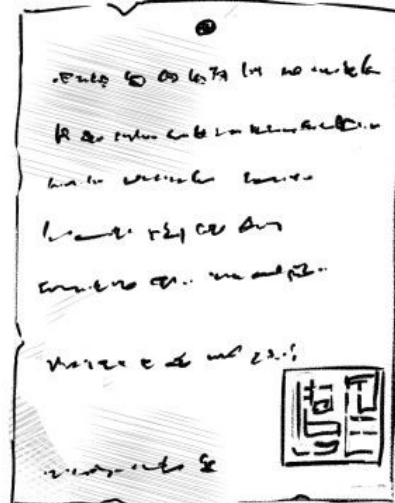
35番！
おい、はやく返事をしろ！

ちっ
うるせーなあ……



はいはい
きこえてるっつーの
これでいいだろ

俺の名前はリリス・クワイア
流れの女盗賊だ。



事の始まりは、一枚の依頼から
全ては、はじまった。
それは山賊に捕まった二人の
冒険者の救出依頼。



臨時のパーティーメンバーと
俺は斥候人員として、救助依頼
へと参加した。

ただ、俺が駆け付けた時には救助対象
は既に拷問され、息絶えていた。



冒険者の命は軽い……
長らく冒険者として活動していれば、
こういった不幸はよくある事さ……

依頼は失敗……
救助対象が既に息絶えてる
場合は俺にはどうする事も
できない。
できる事と言えば……

彼の冒険者のドッグタグの
回収だ。
これは彼の死亡を証明する
物であり、遺族への遺品となる。



俺は彼の死亡を伝えるため、
ドッグタグを片手に彼のご遺族
へ届ける。

これが全て
……事もしらずに……



お、おい！

ガッ

ブーン

どういう事よ！彼が死んだって！
答えてよ！嘘だと言ってよ！

嘘よ嘘よ！

どうして……！

約束したのに！

ガッ！！

なんで！

お、おい
落ち着けよ

あなたがもつと早く……
もつと早く……
駆けつけてくれたら……

許さない、許さない……

私は絶対にあなたを
許さない！

お、お前は何を……



あの女は、どうやらあの男に惚れていたらしい……
これが、ただ惚れたはれたとか単純な話でよくある不幸な話であったならよかった。

そう、あの女が貴族だったのが問題だ。

事もあるう事があの女、俺に冤罪を叩きつけ監獄を送りにしやがった。

許せねえ……

ただ、不幸中の幸いか、俺には冒険者としての信用も評価もあった。

あの女がいくら金をつんで喚こうが、軽犯罪とするのがせいぜいであった。

第3監獄所送りとなったがこの程度に済んだのは、不幸中の幸いだったのかもしれない……





それに妙に甘い……匂い……？

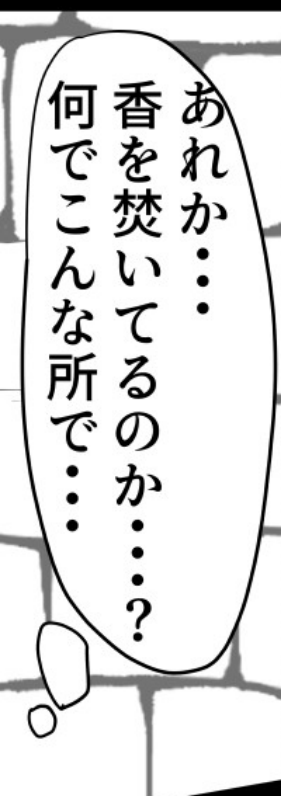
フ

フ

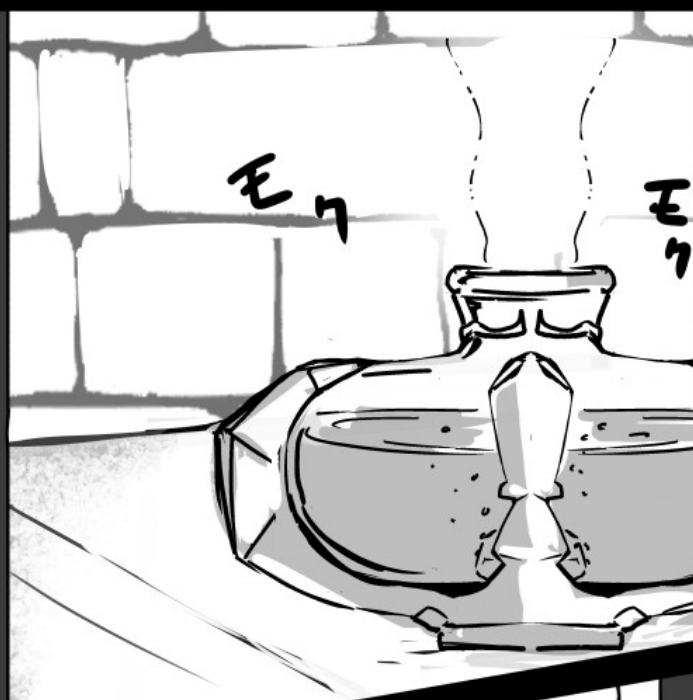


なんだここは……？

ズタズタ

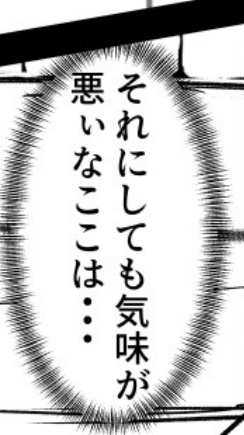


あれか……
香を焚いてるのか……？
何でこんな所で……

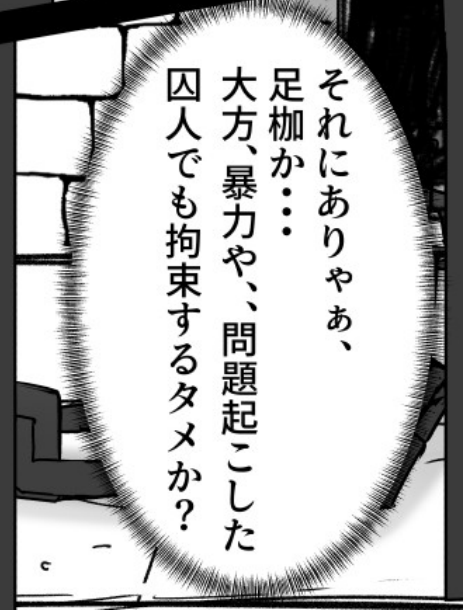
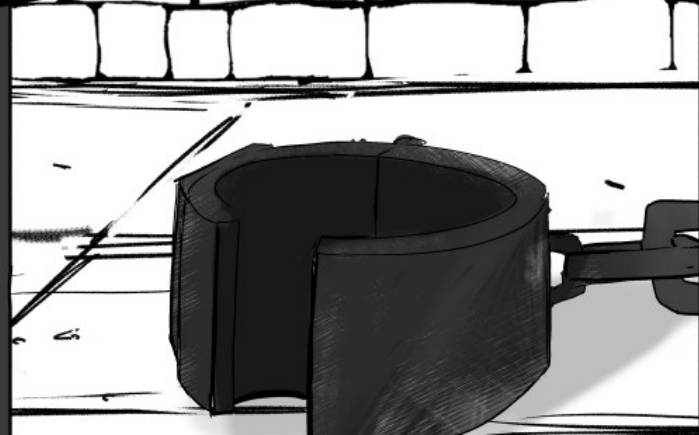


モ

モ



それにしても気味が
悪いなここは……



それにありやあ、
足枷か……
大方、暴力や、問題起こした
囚人でも拘束するタメか？





おいおい！
何がどうなってやがる！
なんで俺が拘束され
てんだよ！



あきらかおかし
じゃねえかつ！



とにかくあの看守から
事情を…

っ
!?



いやあ実に愉快愉快
君には助けられたよ。

何いってんだ旦那あ
それはこっちのセリフだぜ。

いやあ、
うちの23人目の婚約者にも困った者だよ。
まさか冒険の男に惚れていたとは、おかげで
中古品をつかませられる所だったよ。

旦那も人が悪いぜ、
まあその女のおかげでこっちは依頼共々
あの女盗賊に痛い目を合わせる口実ができて
旦那には感謝しきれないぜ

それにしても盗賊ギルドの棟梁の君には
世話になってるからねえ、協力は惜しまない
つもりだけど、それ程あの小さな女盗賊に
ご執心だったとは……
一体何があったんだい？

あの女がこの街に来てからと
いうものうちに依頼がへる一方で
スカピンなのよ……
あいつは、口は悪くても
技能だけは一級品だからな、
一度内の傘下に入らねえかって
誘った事があるんだけど、
誰がはいるか祖チン野郎だとさ

なるほどねえ

それに新顔にいい顔されて
うちの島を好き放題荒らされるって
のも気に食わねえんでさ
こっちも盗賊ギルド棟梁としての
面子ってもんがあるもんでね、
一度しっかりしめておき
たかったんでさあ

それと特別独房のキーだがね
まあ今さら君には説明はいらないか
既に香も焚いてある。
そろそろ出来上がってる頃合いだろう

そいつはありがてえな

なに、君と私の仲じゃないか

所で、粗チン君。
君は少女趣味だったりするのかい？

笑えねえ、冗談はよしてくれよ旦那あ……
俺はちよっとしつけののなってるねえ
女をわからせるだけだ……

三時間後

くそっ！
なんだよ、この独房はっ！

体の方も妙に昂って
きやがるし…
どうにかなっちまいそうだ…

な、なんだあ…？

なッ！？

鎖が勝手にっ？！

ズズズ

ちっ！こっちの鎖も動いてやがる！

よお、リリース

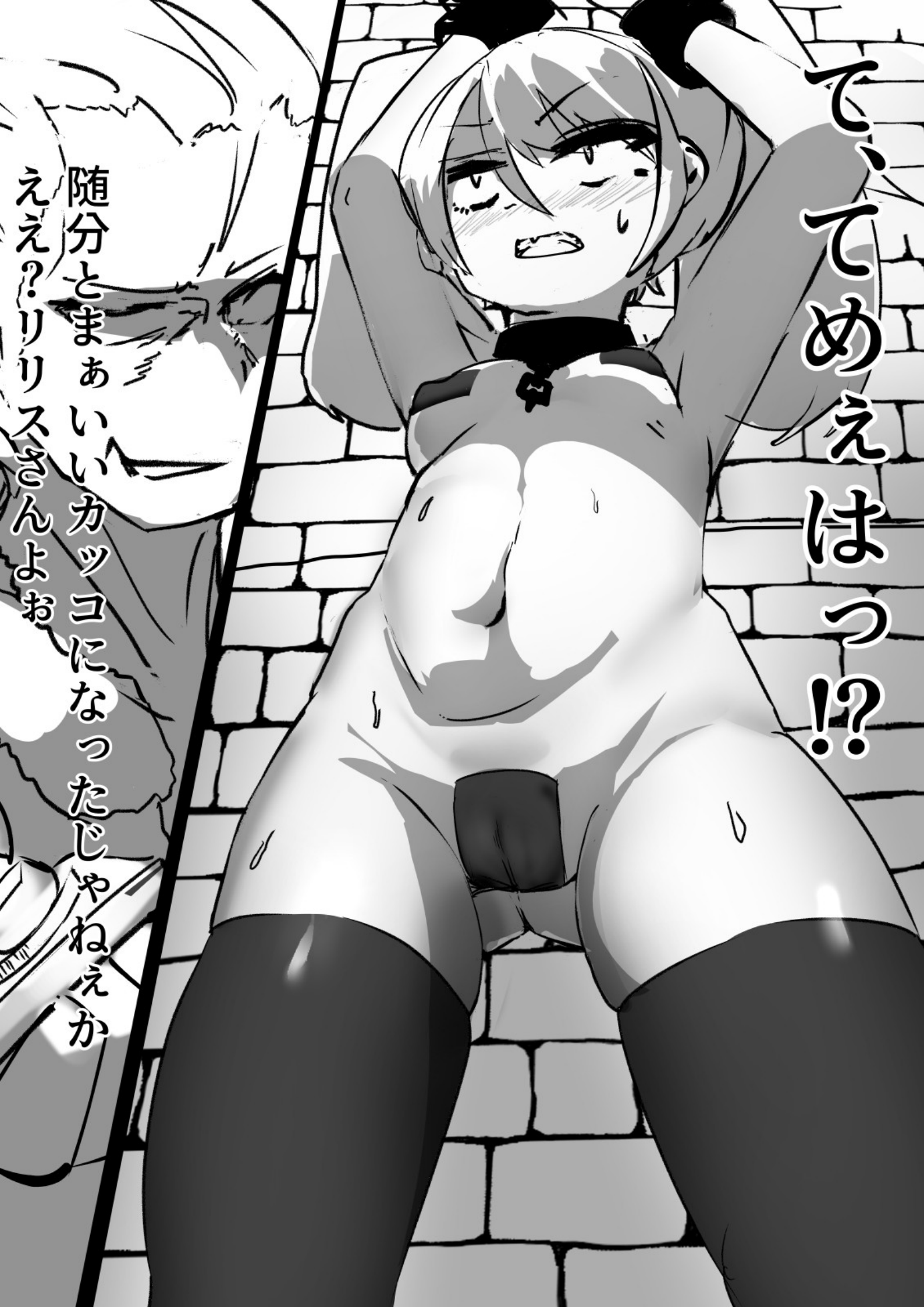
ガシ

ガッ

カラカラ

て、てめえはっ!?

随分とまあいいカツコになったじゃねえか
ええ? リリスさんよお



何でてめえがここにいやがる！
つかジロジロ見てんじゃねーっ

相変わらず口が悪いなあ、てめえはよお…
ハメられた事も知らずに随分とまあそれほど威勢が
はれるもんだ

はっ？何言って…

全部全部、シナリオ通りって事だよ。

てめえはハメられたんだよ、リリスちゃんよお
そしててめえは今から俺様に許しを乞うまでしっかり
しつけてやつからよお
その生意気な口が聞けなくなるまでなあっ！

て、てめえっ！来るんじゃねえ！

ギ
ギ

一度やってみたんだよなあ…
おめえみたいな、生意気なガキをたっぷり
痛ぶってみるのよお…

サーッ

お、おい嘘だよな…
く、くんなよ…

く、くるんじゃねえっ！

ほお、意外と胸あるじゃねえか
リリースの癖によお

く、くそ触んじゃねえ
ふざけんな

それに体中こんなに
ベトベトにして

うるせーっ！いいからその
汚ねえ手をどかしやがれ

ほお、そんな口の聞き方でいいのか？

お、おい……
お前どこに手を……

ばかつ、おま、お前ふざけんな
いい加減にしやがれ！

お、おい……
や、やめ……やめてk……

ペリペリペリ

ペリペリ



ははは、なんだよ体の方は、
随分素直に仕上がってるじゃねえか！

指突っこんでいっちまったのか

う、嘘だろ…
何がどうなちまってるんだ…

いったのか？

指をいれただけで…俺が…？

くそっ！くそっ！
なんだよ…これ…
体の奥底がまだまだ疼きやがる

一体どうなちまってるんだ…
俺の体は…？

おいおい、何股を閉じてんだ
これからつうのによお！

おい、待て！
待ちやがれ！！

その口の聞き方を改めたらなあっ！



頭のとっぺんから全部、全部
真っ白になって、何も考えられねえ...

やめ、
やめてくれ...

ああん、聞こえねえよ

くそっ！くそっ！こんななんじゃまたすぐにっ！
こんな、こんな奴に無理やり...
俺はっ！俺はっ！！



!!!

スポッ

ガッ

カッ

バン

ビッ

ヤッ

!!!

へへ、随分と気持ちよさそうに
いくじゃねえか

ええ？リリース

クソツクソツ
ふざけやがって
ぜってえーコロス！

そうカツカ
すんじゃねえよ

なんだ鎖が…

なんのマネだ

なに、お前があまりにも
気持ちよさそうにするもんで
俺もやることやっちまいたくなつてなあ

なっ！なっ！
お前っ！！何おっ勃ててやがるっ！

ギ
ギ
バロン

ド
ドサッ
カ
カ

へへっ
小ぶりの癖して意外と尻肉ついてんじゃん

さ、触んじえねえ
今すぐその汚ねーもん
を締まいやがれ！

なんだあ？今さら触れるのダメってか？
サービスで鎖はゆるくしてやってるんだぜ
ほれ、嫌なら逃げて見ろよ、なあ？

あ、あん？な、なんだこれ……

体に力が……はいんねえ……

へへへ、今さら気付いたようだな
あの香はなあ、特別せいでああ……

いいからその汚ねーもん
しまえよ！

はあ？今からおっぱじめるのに
どうしてしまわきゃならねーんだよ

お、おま……
冗談……冗談だよな……

そいつ！はどうかなっ！

っ
!!

おっ！！！！

足の指先から頭のとっぺんまで
脳髓まで刺激が駆け巡ってやがる…

こいつっ！
こいつっ！
くそまじでいれやがった！！

なんだこれは…
俺の体、全身性感帯でもなったのかよ…

体中に刺激が走りやがる…

ビリ

さあ、最高に気持ちいいシヨ一の始まりだぜ！

イッパ

待て、待て、待て…

こいつは、何いってやがる…

こんな状態でさらに刺激なんて…

ガッ

キュン

アッ

アッ

アッ



うっひょう！
お前気持ちよすぎだろ！
小さいだけあって、
膣の締りがだんちじゃねえか！

おおおお、やめろおおおつ！
いっちまう！いっちまう！

さっつきから膣がヒクヒク
絡みついてきやがる。
そんなに俺のチン○が気持ちいいのか？
ええ？リリースよ！



お前、お前ええええええ！！

べえな…
こんなじゃ俺の方もすぐ出ちまいそうだ
まずは景気づけに一発いっとくか？

ばかあああつ
ふざけんじやねえええつ
やめろやめやがれええつ！

バン
バン
おお、しまるましまる、なんだよ、
体の方は完全に出来上がってるくせによお
さあ一発目いくぜ！



こいつまじで中につ……!!

ビュッ

オムッ!!

ビュッ

ビュッ

ガッ

ガッ

ビュッ

キッ

ビュッ

キッ

ド

ド

ド

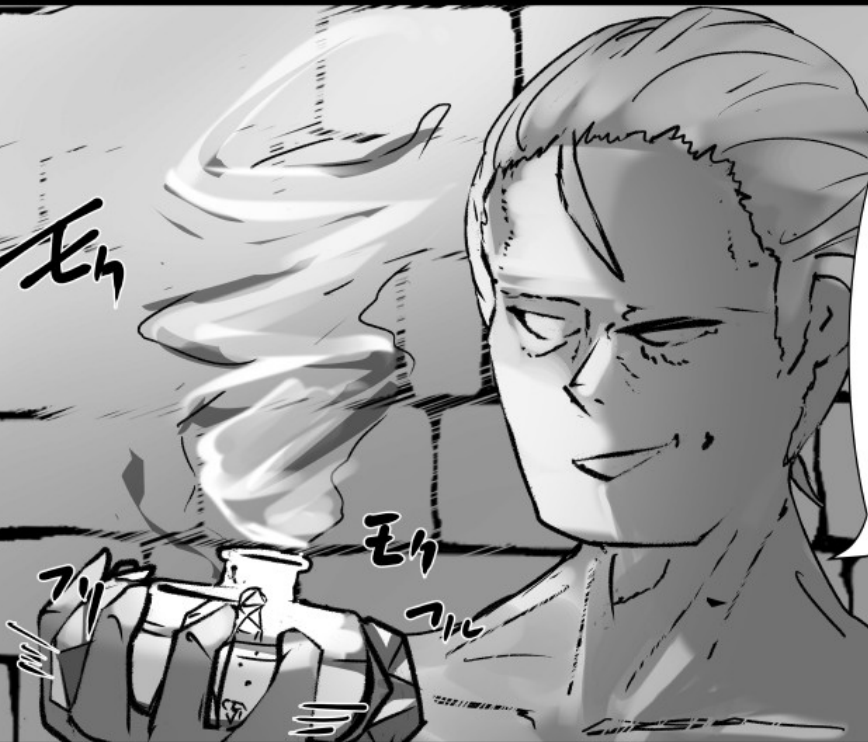
ふさけるな……!!

クロス
ゼツテエークロス…



おーこえーこえー
でも…
お楽しみはこれからだぜ？

いわゆる前準備って奴だ。
いった、ろこの香は特別製なんだよ



さあ、ごっちへ来い
リリース

動ける訳ねーだろうがぁ…
俺は力が…

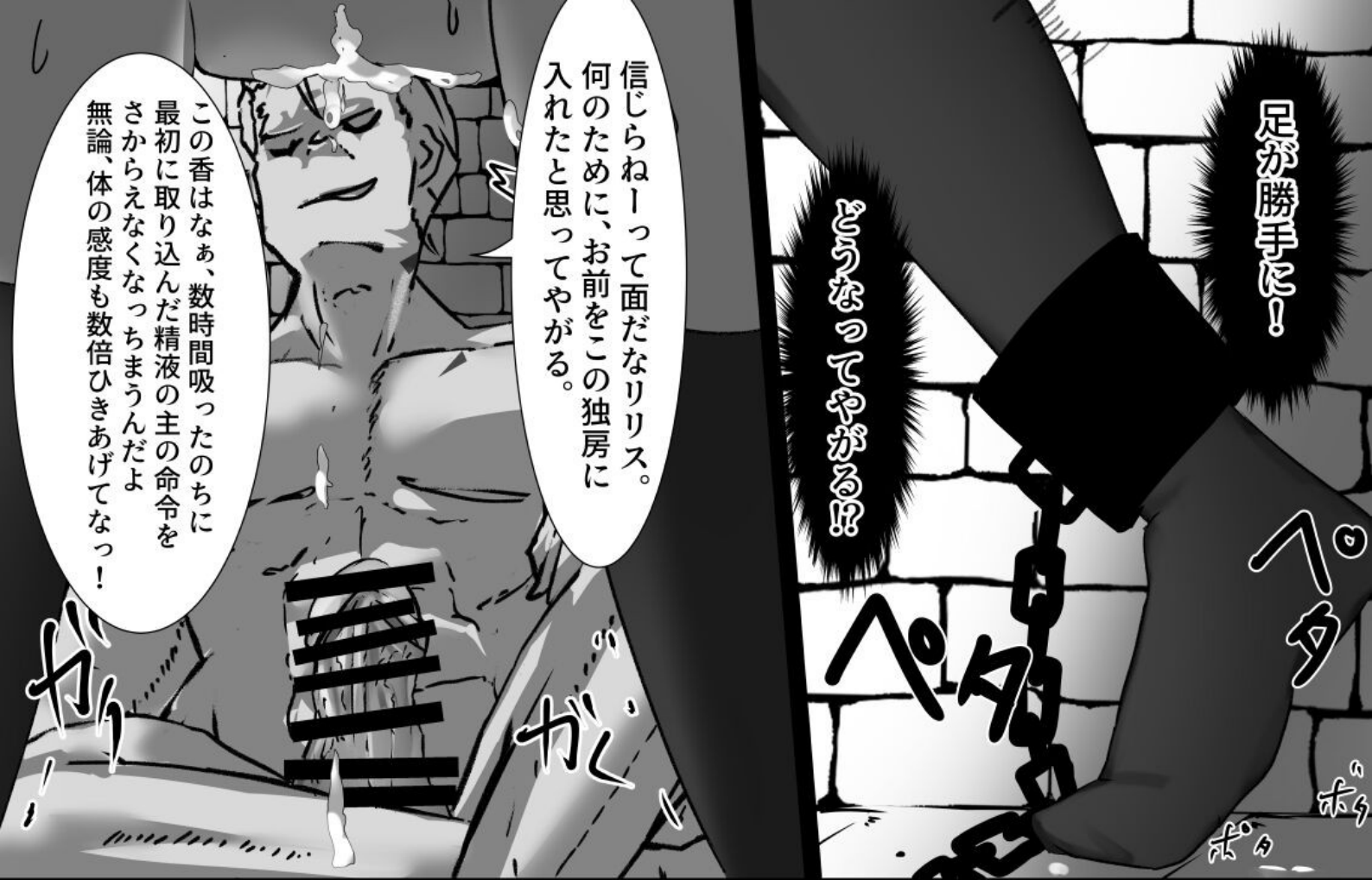


足が勝手に!

どうなってやがる!!

信じらねーって面だなりリス。
何のために、お前をこの独房に
入れたと思ってるやがる。

この香はなあ、数時間吸ったのちに
最初に取り込んだ精液の主の命令を
さからえなくなっちまうんだよ
無論、体の感度も数倍ひきあげてなっ!



馬鹿かてめえは...誰がお前の言う事なんて...

ほれ、試しに命令してやるよ
その胸のニッププレスいい加減邪魔くせえんだよ
とっちまえよ。



ってな具合でさあ、リリースよお

ハハハ!

て、てめえっ…

これでお前はもう俺に
逆らう事すら許されねえって事さ、

さて、お次はそうだな…
騎乗位でもお願いしてみようか、

ふふぎけんなっ!!

びり

びり

びり

な!
今のが命令に
なっちまってるのかっ!?

くそっ!
また、体が勝手に!
き、きもちわりい...
俺の意思じゃねえのに...



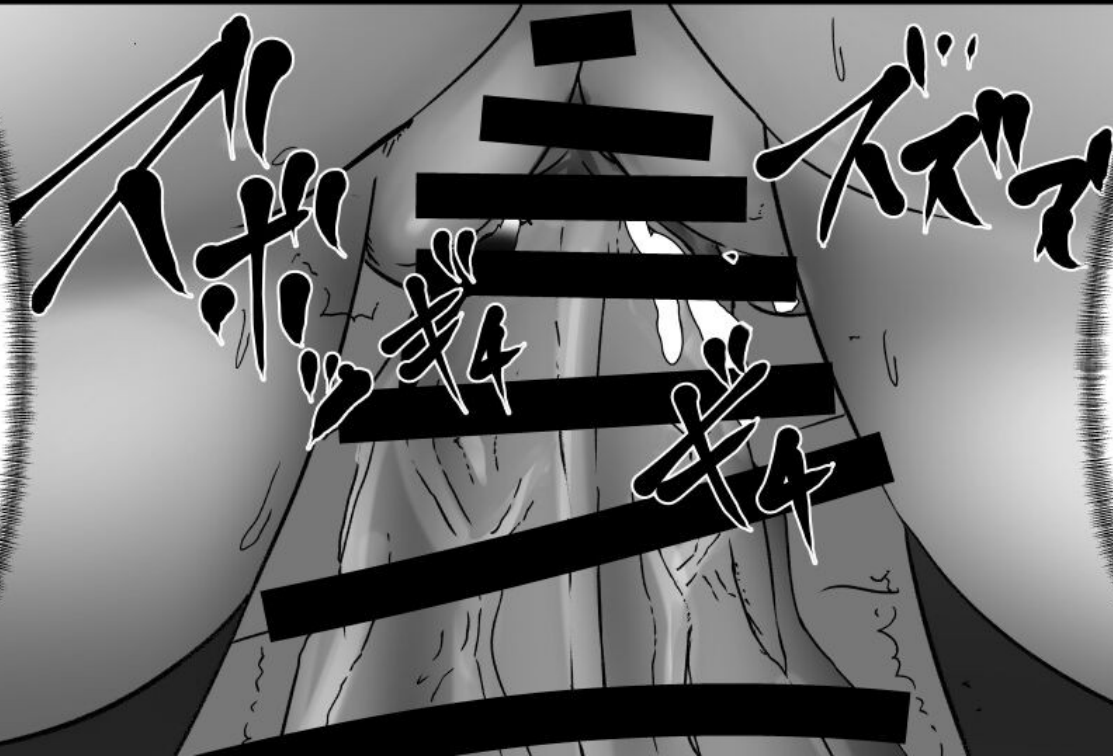
や、やめろっ!
ちん〇を握るなっ!

狙いをさだめてるんじゃないっ!



やめろ、やめてくれっ!
おかしいんだ俺は...
さっきから...

こいつのちん〇が入るたびに
俺は...



おおよくできたな、
リリース偉いぞー

こいつふざけたら……
このクソきもちのちん○がよおっ！
っ……ちがうっ！
なんだこれ、どうなるちまってる!!

くそっ……だめだ……
こいつのちん○が俺の中にはいつてきた瞬間
頭の中が、こいつのおちん○の事しか考えられねえ……
やべえ……本当にこのままじゃまずい……おかしくなっちゃう……

太ッ
ビク
ビク

なんだ軽くいつちまってるのか
ビククしやがってよお

なあ、頼むっ！何でもするっ！
だからっ！もうやめてくれ！
正直頭がどうにかんっちゃうんだ！

ほお何でもしてくれるのか
なら、命令だ。
いますぐ腰をふれ！

嘘だろ……お前……
今、なんて……



俺の意思で動いてるわけじゃねえのに……

腰を動かす度に快樂が体中に押し寄せてきちまう……



ああ、いいぜ、お前本当にセックスの才能あるわいやらしく腰つかいやがってよお

だめだ、だめだ……堪えろ！
このままじゃまずい……！！



クソちん○の癖にっ！クソちん○の癖にっ！！
これ以上、俺を気持ちよくすんじゃねえ・頭が……
ちん○が……なんだどうなってる……腰が……



ク ク
ソ ソ
ツ ツ
・ ・
・ ・

なんだよこれっ……
 気持ちよすぎなんだよ……
 もっと・もっと……

違うっ！考えるな！
ちん○以外を……っ……



とまんねえ!
とまんねえよおつ!

おゝおゝ

ははは、
いい様になったじゃねえか、ええリリースよお。



っち、きこえちやいねえか
まあいい、そんな良い子なりリリースちゃんには
たっぷり中にご褒美あげないとなあ?

何だ、ちん○がくるのか?

中にちん○がくるのかっ!?
だめだわかんねえっ!

おゝおゝ



アハハハ

おっ っ っ

ザッ

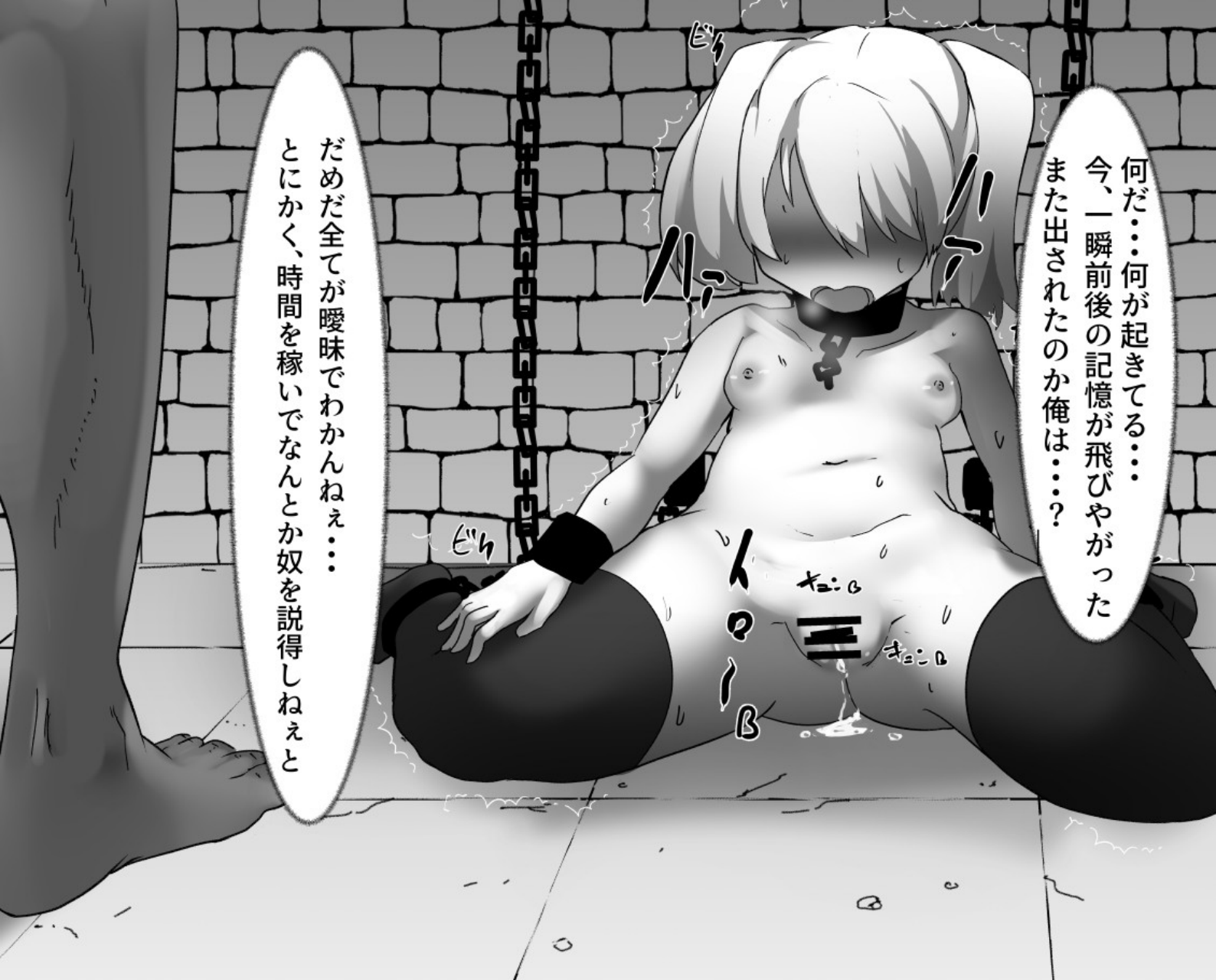
ブル

カッ

ビュルル

カッ

ビュ



何だ…何が起きてる…
今、一瞬前後の記憶が飛びやがった
また出されたのか俺は…？

だめだ全てが曖昧でわかんねえ…
とにかく、時間を稼いでなんとか奴を説得しねえと



なあ、なあ、もう1回
もう1回くれよ…

俺は何を言ってる…

違う…俺はそんな事っ！

ああん？なんだよまだ欲しいのかよ
仕方ねえ、野郎だなあてめえは、



はは、甘えるだけ甘えて気絶しやがったぜ。

トサリッ

まあいい、こいつの刑務期間は三カ月だ、
また、たっぷり可愛がってやるとするか、
ひひっ...

終わり

